

地域イノベーション学研究所入試説明会

平成28年10月5日

イノベーションで地域を創ろう

研究科長 小林一成



三重大学大学院地域イノベーション学研究所
Graduate School of Regional Innovation Studies, Mie University

三重大大学の基本的な目標



三重の力を世界へ



地域に根ざし、世界に誇れる

独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。

～人と自然の調和・共生の中で～



駒田美弘 学長

地域社会では少子高齢化が凄まじい速度で進みつつあり、競争の原理が過度なまでに社会を支配しつつあります。時として、将来に不安を感じ、心が萎えてしまうこともあるのではと思います。このような困難な時代にこそ、**オール三重大学で、地域の皆さんを元気にし、社会を活性化**するため、精一杯の努力をして行きたいと思います。

三重大学
大学院

人文社会科学研究科
修士課程(平4.4.1)

- 地域文化論専攻
- 社会科学専攻

教育学研究科
修士課程(平元.4.1)

- 教育科学専攻

医学系研究科
博士課程(昭50.4.1)

- 修士課程
- 博士課程

工学研究科
(昭53.4.1)
博士課程(平7.4.1)

- 博士前期課程
- 博士後期課程

生物資源学研究科
(昭和63.4.1)
博士課程(平3.4.1)

- 博士前期課程
- 博士後期課程

地域イノベーション学研究科
(平21.4.1)

- 博士前期課程
- 博士後期課程

イノベーション？

発明 \neq イノベーション



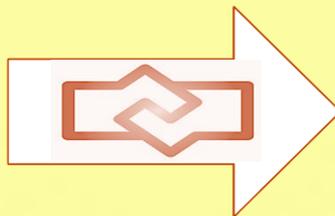
2011年4月13日：英国の技術者リチャード・トレビシック生誕240年



線路をつないで始めて
イノベーションになった！



つなぐ

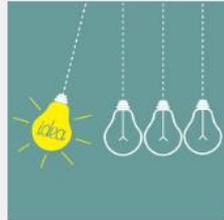


イノベーション

何かと何かを「つなぐ」ことがイノベーション

地域イノベーション？

関連検索: TRF INNOVATION

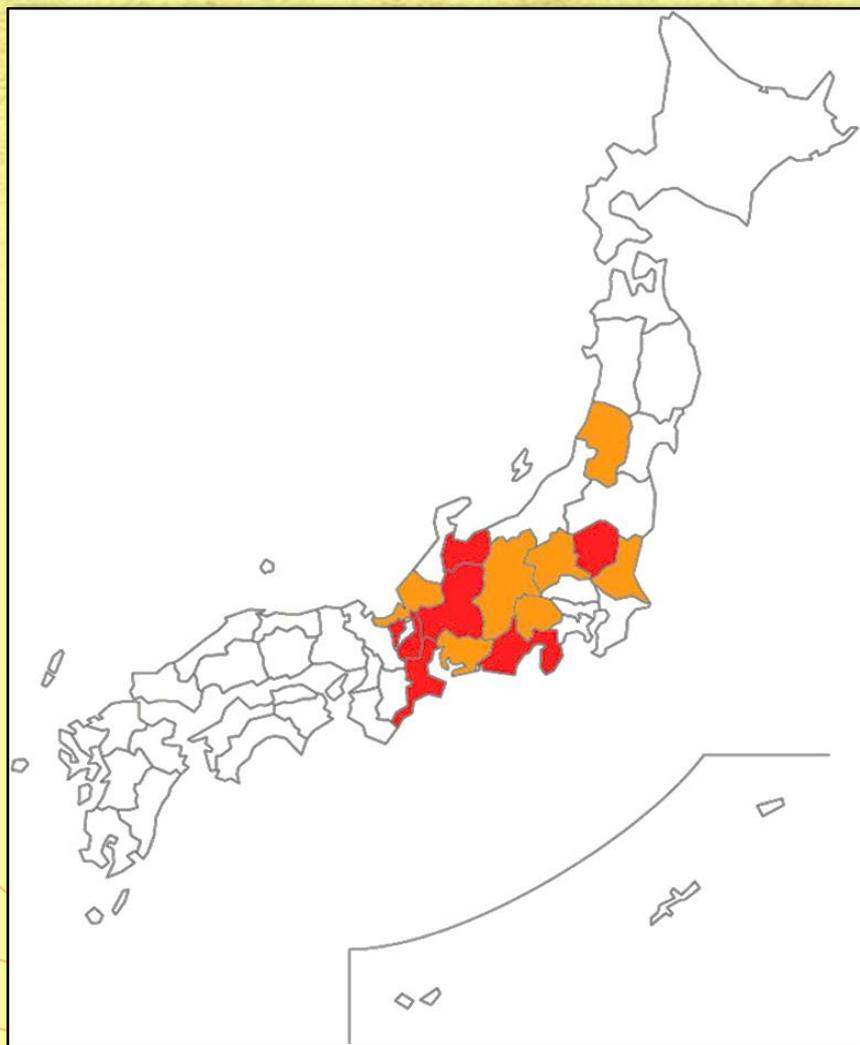


の結合に
すること



in

三重県産業の特徴：バランスが良い



三重県は製造業従事者の割合が全国第3位の高さであり、全国有数の「モノづくり」の盛んな県

これに加え、三重県は第一次産業従事者の割合も高い
＝伊勢平野の農業、南部地域には全国有数の漁港

小売業・卸売業従業者数に対して製造業従事者数の多い県



地域の将来

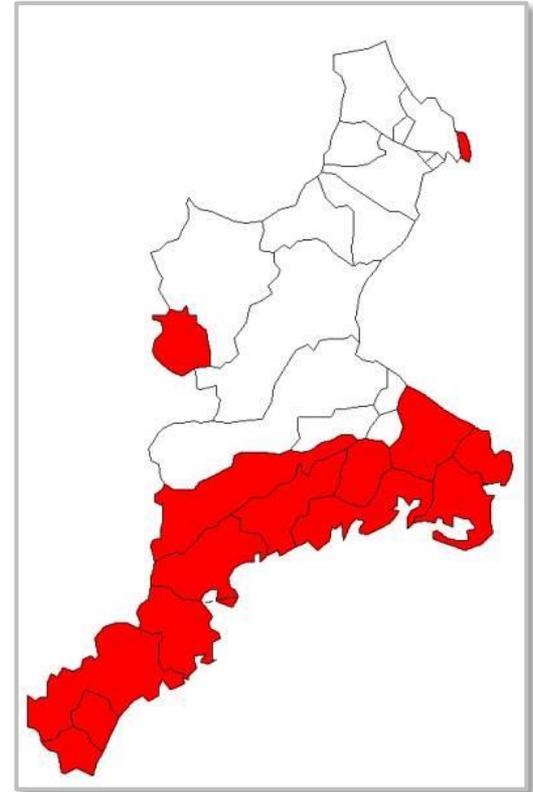
このままでは三重県29市町のうち約半数は2040年までに人口の再生産が困難な「**消滅可能性都市**」になる。



若年人口の流出を止め、**若者が若者自身の手で**地域を守ることを可能にしなければならない。



地域に価値を創造する**地域イノベーション**を起こせる**若い人材**を育成して地域に根付かせ、**地域のリーダー**とともに**地域経済**を活性化させる必要がある。



赤：三重県の「消滅可能性都市」
「ストップ少子化・地方元気戦略」日本創成会議・人口減少問題検討分科会(2014年5月)

地域イノベーション学研究科が目指すこと

地域イノベーション学とは

大学が形成・蓄積してきた研究成果と知識を活用することで、**地域社会との連携**によって**地域を活性化させるための方法論**を見出すことを目標に研究を遂行する学問領域

研究科の教育目標

地域社会との連携を通じた人材教育を行うことにより「**プロジェクト・マネジメント**ができる**研究開発系人材**」を地域社会に輩出する。

モノ・コト・ヒトの新たな結合を生み出せる
人材を育て、三重地域圏に送り出す



本研究科の教育の特徴



「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」とは

以下の3つの能力を兼ね備えた人材であると定義

(1) 解決手法の実施を管理・遂行することで
課題を解決する能力

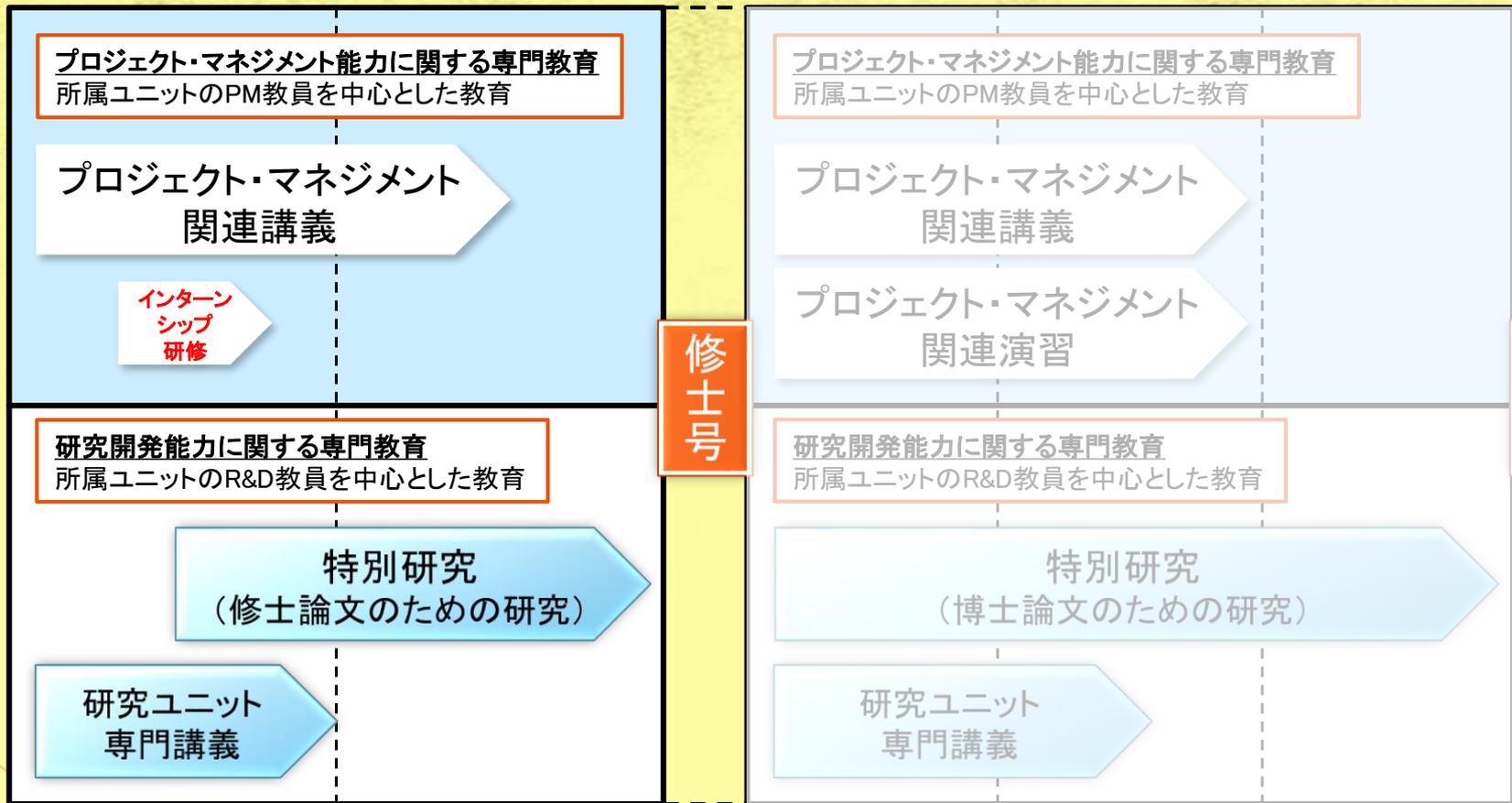
(2) 専門分野を中心とした幅広い知識に基づく
高度な研究開発能力

(3) グローバル化に対応しうる
国際感覚

これら3つの能力を兼ね備えた人材を育成し、
地域に輩出する。



教育の概要：専門教育とプロジェクト・マネジメント教育の融合



【前期課程・修了要件】

必修科目	選択科目	合計
26単位	12単位	38単位

【後期課程・修了要件】

必修科目	選択科目	合計
14単位	8単位	22単位



三重大大学の精鋭を結集した教授陣

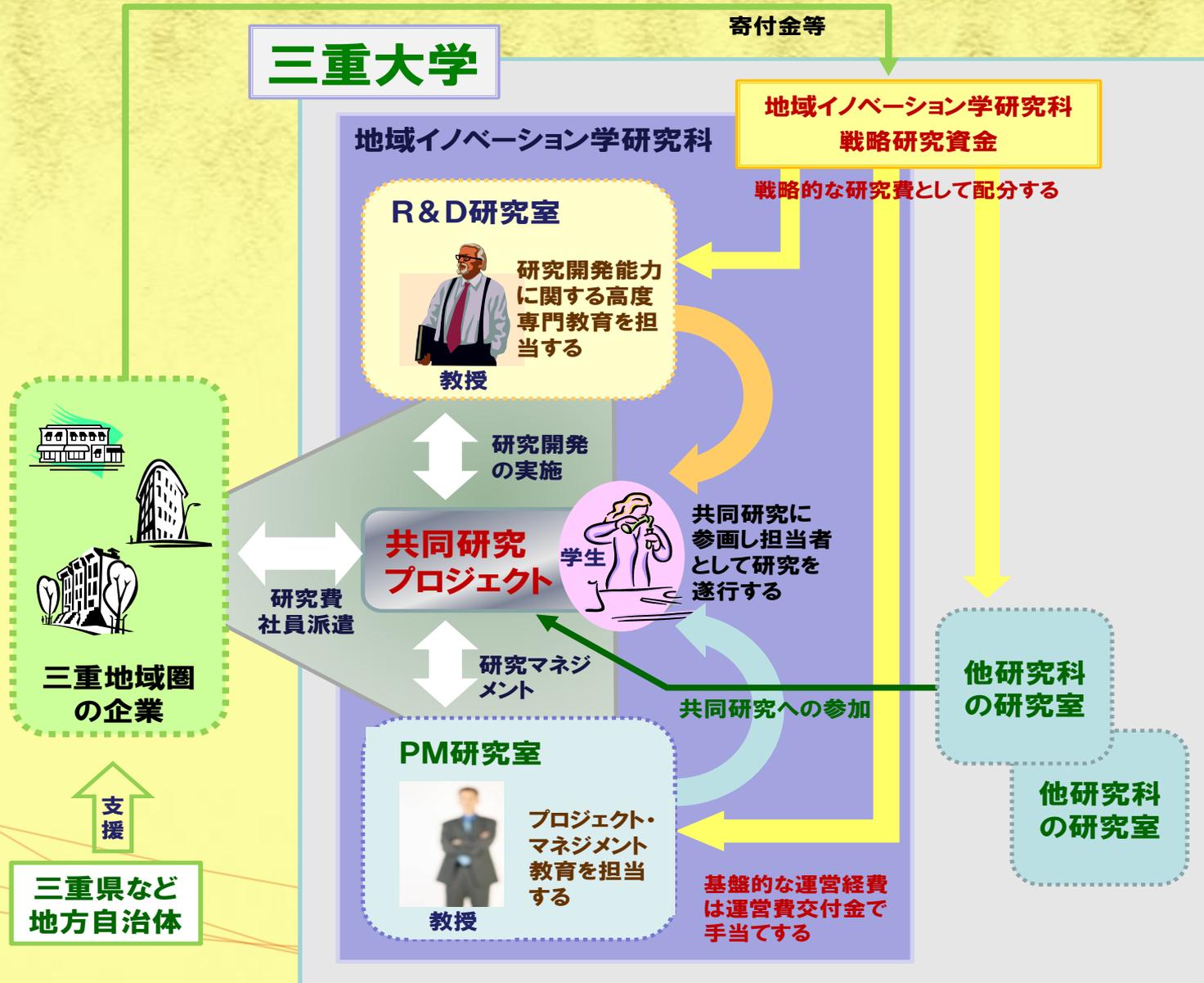
平成28年10月1日現在

専攻	博士後期	博士前期	職名	氏名	担当	居室	関係学部等
地域イノベーション学	地域新創造		教授	朴 恵淑	R&D	人文学部	人文学部
			教授	藤田 達生	R&D	教育学部	教育学部
			教授	杉田 正明	R&D	教育学部	教育学部
		工学イノベーション	教授	西村 訓弘	PM	地域イノベーション棟5F	企業→医学系研究科
			教授	三宅 秀人	R&D	工学部電気電子	工学部
			教授	鳥飼 直也	R&D	工学部分子素材	工学部
			助教	加藤 貴也	PM	社会連携研究センター	社会連携研究センター
			助教	八神 寿徳	PM	社会連携研究センター	社会連携研究センター
			バイオイノベーション	教授	矢野 竹男	PM	地域イノベーション棟5F
		教授		青木 恭彦	R&D	生物資源学部	生物資源学部
		教授		小林 一成	R&D	遺伝子実験施設3F	生命科学研究支援センター
		准教授		三島 隆	R&D	地域イノベーション棟5F	生物資源学部
		准教授		市原 佐保子	R&D	地域イノベーション棟5F	生命科学研究支援センター
		准教授		狩野 幹人	PM	社会連携研究センター	社会連携研究センター
		准教授		加賀谷 安章	R&D	遺伝子実験施設3F	生命科学研究支援センター
		助教		臧 黎清	R&D	地域イノベーション棟5F	医学系研究科

本学出身の学生は現在所属している研究室で研究を続けることもできます

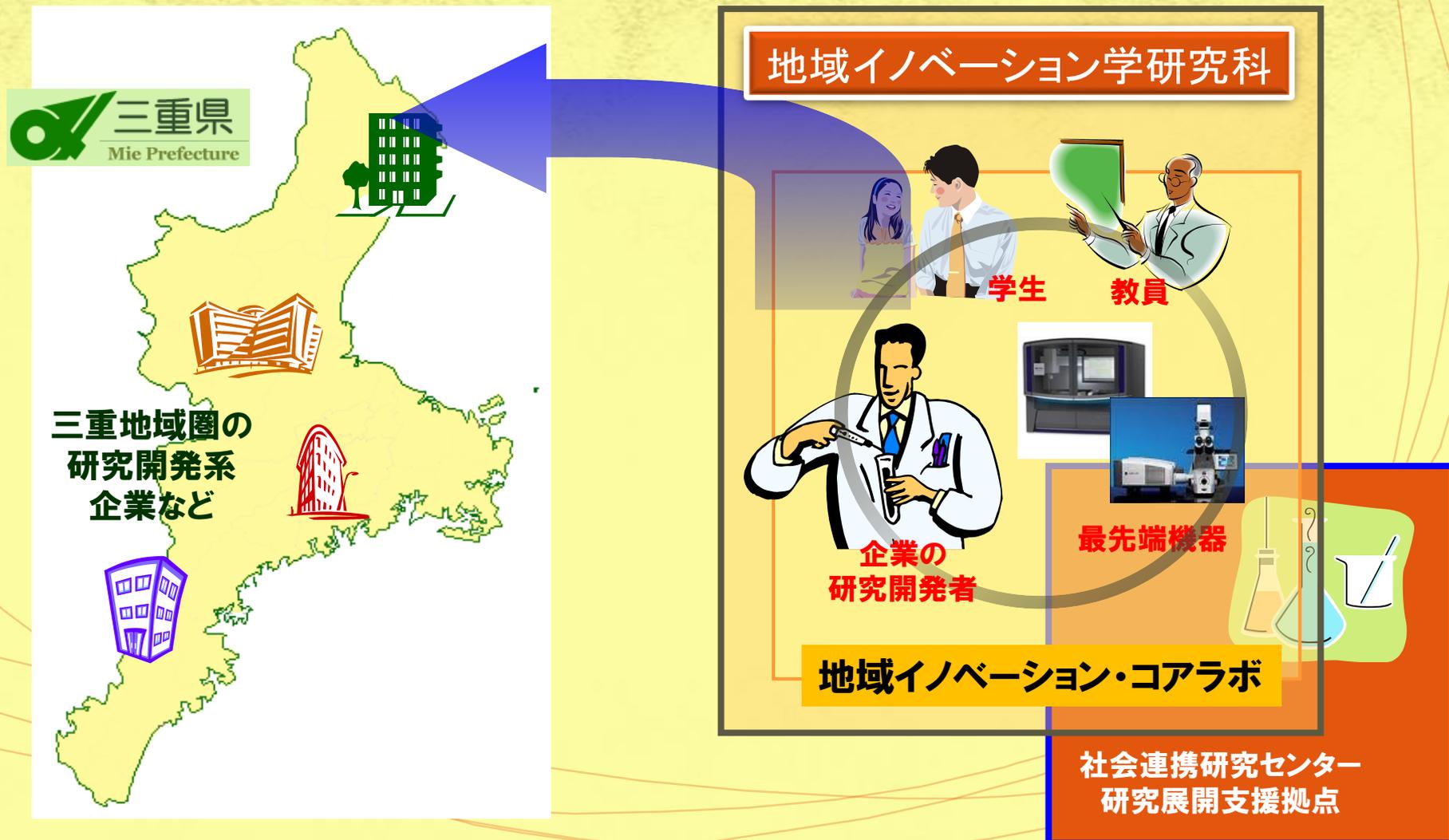
平成29年度より、人文・社会科学系の教員が増員予定

サンドイッチ方式教育を通じた高度人材の育成



OPT教育による「産学連携」を通じた人材の育成

学生を三重地域圏の企業、自治体、研究機関等との共同研究に参画させ、実践的な研究開発能力とプロジェクト・マネジメント能力を修得させる(*On the Project Training*)。



本格的なインターンシップ研修（前期課程）



社内外の様々な人との関わりの中で、
物事に対する見方や視野が広がった。

博士前期課程2年生
喜多 智美

情報社会の今、情報を効果的、効率的に探し出し、精査し、使うこと、正しい情報を確実に人に伝えることが求められています。このインターンシップでは社内、社外で様々な人と関わる機会があり、その力を日々鍛えられました。物事に対する見方や視野を大きく広げることができたことは、就職活動や今後社会に出て行く上で大きな糧になるはずです。



自分がやりたいと考えていた仕事以外にも、
世の中には面白い仕事がある。

博士前期課程2年生
坂倉 功達

私はこの研究科のインターンシップに参加して視野を広げることができました。研修を通して自分が今までやりたいと考えていた仕事以外にも面白い仕事があることに気づき、その経験が就職活動でも役立ちました。インターンシップは、実際に企業で働くことで、将来就職した際のイメージを明確に持つことができるのも大きな魅力だと思います。

本研究科では1年生の夏休みに**3～4週間のインターンシップ研修を必修科目**としてしています。この本格的なインターンシップを通して、**社会との繋がりを実感でき**、**研究開発系人材として活躍するために必要な本物の基礎力を得ることが出来ます。**

国際感覚の養成：国際ワークショップの開催

The Eighth International Workshop on Regional Innovation Studies

産学共同研究の種となる異分野の融合研究と境界領域の研究

10/13 Thu. 10:10~17:15

Opening Address

Oral Presentation

Engineering I for Regional Innovation
Molecular Biology I for Regional Innovation

Invited Lectures

Prof. Wasan Luangprapat

Thammasat University (The Kingdom of Thailand)

Prof. Chih-Hung Lin

Southern Taiwan University of Science and Technology
(Taiwan R.O.C.)

Prof. Loch Leaksmy

Royal University of Phnom Penh (The Kingdom of Cambodia)

Oral Presentation

Engineering II for Regional Innovation
Social Engineering I for Regional Innovation

10/14 Fri. 10:00~15:35

Oral Presentation

Engineering III for Regional Innovation
Molecular Biology II for Regional Innovation
Engineering IV for Regional Innovation
Social Engineering II for Regional Innovation

Closing Remarks

2016.10.13-14 (Thu-Fri)

三重大学地域イノベーション研究開発拠点3階イノベーションホール

主催：三重大学大学院地域イノベーション学研究所
共催：株式会社 三重ティールオー

参加申し込み・お問い合わせ

三重大学大学院地域イノベーション学研究所
〒514-8507 三重県津市築真町1577 TEL: 059-231-9632 FAX: 059-231-9956

e-mail info@innov.mie-u.ac.jp <http://www.mie-u.ac.jp/innovation/>

国際ワークショップ

- 2日間にわたる英語のみによるプレゼンテーションと討論
- 海外から招へいた研究者による特別講演
- 研究科の学生（博士後期は必須、博士前期は任意）による研究発表
- 学内外の研究者による研究発表
- 発表者は3~4ページの原著論文を英語で執筆

昨年度より授業科目として
単位化されました



地域イノベーション研究開発拠点 (平成26年1月10日オープン)



三重大大学の「地域発イノベーション創出」機能を結集

地域イノベーション研究開発拠点



4、5階：地域イノベーション学研究科の教室、教員室および実験室を4、5階に配置

3階：地域との交流スペースと天井の高い大空間のホールを3階に配置

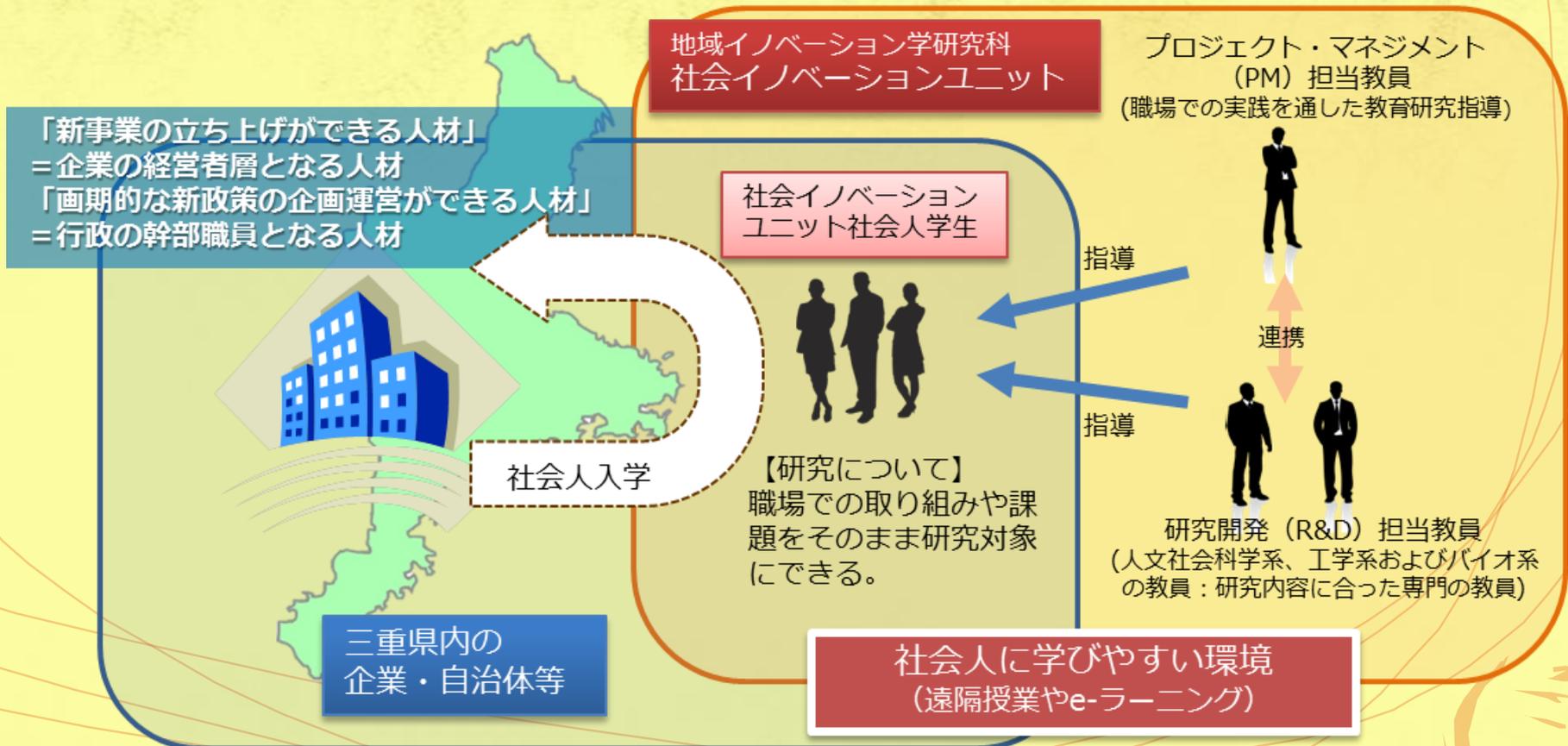
2階：既存の研究支援設備との連携を考慮し、生命科学研究支援センターを2階に配置

1階：地域交流のために学外者が多く利用する社会連携研究センターと地域イノベーション学研究科事務室を配置

【平成29年度開設予定】

社会イノベーションユニット

「地域にゼロから1を創造できるソーシャル・アントレプレナー」人材の養成



社会イノベーションユニットの新設

背景・目的

三重県29市町のうち約半数は、2040年までに人口の再生産が困難な「消滅可能性都市」になると予測されている。地域の存立を守るためには、若年人口の流出を止め、若者が自身の手で地域を支えることを可能にする施策を直ちに講じなければならない。この実現には、**科学技術と社会**の変革により地域に新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そこで、平成29年度に**本研究科の機能を強化し、科学技術を社会に生かすことにより「社会イノベーション」を起こせる人材を養成する。**

～H28年度(現在)

博士後期課程
地域イノベーション学専攻
(入学定員5)
PM教員:5 R&D教員:10

地域新創造ユニット
(文理融合型)

博士前期課程
地域イノベーション学専攻
(入学定員10)
PM教員:5 R&D教員:7

工学
イノベーション
ユニット

バイオ
イノベーション
ユニット

「地域にゼロから
1を創造できる
ソーシャル・アン
トプレナー」
人材の養成

H29年度～

博士後期課程
地域イノベーション学専攻
(入学定員5)
PM教員:6、R&D教員14

地域新創造ユニット
(文理融合型)

博士前期課程
地域イノベーション学専攻
(入学定員15)
PM教員:6、R&D教員11

工学
イノベーション
ユニット

バイオ
イノベーション
ユニット

社会
イノベーション
ユニット

社会イノベーションユニットにおける教育の特徴

- 工学、バイオおよび人文・社会科学分野の知識や視点を活用しながら、地域経済の動向と地域社会のニーズを正しく認識するためのものの見方・考え方を養成します。
- 社会的価値を創造できる基礎力を身につけ、ソーシャル・アントレプレナーとしての力を養成します。
- 社会人学生と一般学生が共に学ぶことを通して、広い視野で物事を考えられる力を養成します。
- E-ラーニングの活用など、社会人にも学び易い教育環境を提供します。

社会イノベーションユニットにおける プロジェクト・マネジメント教育

博士前期課程1年



「プロジェクト
マネジメント演習Ⅱ」
(全学生参加の討論形式)

博士前期課程2年



「社会イノベーション特論Ⅳ」
(討論合宿など)

「プロジェクトマネジメント演習Ⅰ」 (座学)

「社会連携実践」 (実社会におけるOn the Project Training)

「特別研究Ⅰ」

「特別研究Ⅱ」

中間発表

修論発表

養成する人材像

「地域にゼロから1を創造できる
ソーシャル・アントレプレナー人材」

=

「新事業の立ち上げができる人材」
= 企業の経営者層になる人材

「画期的な新政策を企画運営できる
人材」

= 行政の幹部職員になる人材

「地域に新規起業できる人材」
= 地域経済の中心になる人材

本研究科の入試について



入試日程

課程	出願期間	試験日	合格発表
博士前期	平成28年 12月5日(月) 平成29年 ～1月5日(木)	平成29年 1月24日(火)	平成29年 2月8日(水) (掲示,HP及び 郵送により通 知します)

(注意) 詳細は募集要項を参照してください。

※4年制大学卒業者以外も本研究科で出願資格が認められれば受験できます。

出願資格審査受付期間: 11月1日(火)～7日(月)



選抜方法（前期課程）

○入学者の選抜は、書類審査（成績証明書等）、筆記試験（英文読解）、口述試験、面接の結果を総合して行います。

教科等	時間	摘要
筆記試験 （英文読解）	90分	辞書（1冊）の持ち込みを認めます。 （電子式は不可。）
口述試験	15分 程度	地域発イノベーションに関する社会問題 と学修してきた内容との関連を問うとともに、 入学後の研究を実施するための基礎学力等の 検査を行います。
面接	10分 程度	入学意欲、目的、卒業論文、志願理由書 等について行います。

※社会イノベーションユニットは、社会人特別選抜も実施します

地域イノベーション学研究科

- 平成21年度に**日本で初めて**設置され、まだ8年目ですが、**三重大学の特徴**として注目されている研究科です。
- 三重大学が目標とする**地域創生への取り組み**の最前線となる研究科です。
- 博士前期課程学生にも**就学支援**のための手厚い制度を用意しています。

